

一般社団法人 日本レオロジー学会 分散系及び界面物性研究会
第 42 回例会
西成勝好 先生（中国 湖北工業大学 教授） 講演会

「中国における最新レオロジー研究と学生教育」

主催：一般社団法人日本レオロジー学会・分散系及び界面物性研究会

協賛：公益社団法人日本食品科学工学会・関西支部

開催日：2019年5月30日（木）

時 間：13時30分～17時30分（途中休憩あり）

会 場：京都大学宇治キャンパス

総合研究実験1号棟 HW401

〒611-0011 京都府宇治市五ヶ庄

（下記マップに会場までの経路のご案内があります）

参加費：無料（事前登録なし）

世話人及び問合せ先：京都大学大学院農学研究科品質評価学分野

教授・松村康生（電話：0774-38-3745、ファックス：0774-38-3746）

E-mail: matsumur@kais.kyoto-u.ac.jp

宇治キャンパスまでの交通：以下の URL をご参照ください

<http://www.uji.kyoto-u.ac.jp/campus/access.html>

本講演会の趣旨

西成先生は、日本レオロジー学会の会長、日本食品科学工学会の会長等、日本の諸学会の会長を歴任されるなど、我が国の学術の発展に多大な貢献をされて来られました。大阪市立大学を退職された後、現在は中国の Hubei University of Technology（湖北工業大学）に設置された Glyn O Phillips Hydrocolloid Research Centre において、Specially Appointed Professor として、中国の学生の教育、研究指導にあたっておられます。定期的に日本に戻られ、様々な学会や食品ハイドロコロイド研究会、食品の物性に関するシンポジウム等、食品の加工や物性に関連する諸団体の活動にご協力をいただいております。

このたび、西成先生が5月に帰国される機会に講演会をお願いすることとなりました。タイトルは「中国における最新レオロジー研究と学生教育」です。レオロジー研究の世界的権威であられる先生が、現在中国においてどのような研究を展開されておられるのかをご紹介いただくとともに、経済分野のみならず学術分野でも発展著しい中国におけるレオロジー研究や食品加工に関する研究の現在の動向を解説いただきたいと思います。さらには、長年、教育に携わって来られた経験から、中国と日本の学生の勉学への意欲や社会に対する関心の強さの比較など、率直にお話いただければと思っております。

講演時間は休憩を挟み3時間を予定しております。じっくりと西成先生のご講演を聴いていただくことにより、中国のみならず世界的な研究や開発の動向及び今後の人材育成に関する有益な情報に触れていただけると確信しております。どうぞ奮ってご参加ください。

京都大学宇治キャンパス内マップ（会場までの経路のご案内）

29番の建物が会場の「総合研究実験1号棟」です。黒の矢印の経路に従ってお越しください。道路から木製板張りの通路を辿っていただきますと、そのまま陸橋を渡って27番の建物の3階部分に入ることができます。そのまま直進していただき、突き当りを左に進むと、渡り廊下を通して29番の建物にお入りいただけます。渡り廊下の先に階段がありますので、それで4階の会場までお越しください。

29番の建物には、屋外の通路（緑の矢印）の経路でもお越しいただけますが、講演会当日はエレベーターの点検日となっています。ご不便をおかけしますが、入り口からお入りいただいて左に進んだ先にある階段で、4階の会場までお越しください。

